

木之本警察署協議会議事録

開催日時	令和4年12月14日（水）午後2時～午後4時20分	
開催場所	木之本警察署 3階会議室	
出席者	委員	吉田源市会長、織田しげみ副会長、岡島義孝委員
	警察	署長、次長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警務係長、警備係長
議事概要	<p>1 VR機器等を用いた交通安全教育体験</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>会長から「署員の皆様にとって、この冬場の業務は特に大変だと思うが、健康に留意しつつ、活動願いたい。委員の皆様におかれては、警察業務に対する建設的な意見等を積極的に発言いただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>署長から「今年は様々な出来事があったが、管内の安全・安心の実現に向けて署員一丸となって取り組んできたところである。事件・事故が増加する年末年始に市民の皆様が憂いなく新年を迎えられるよう、関係機関・団体と連携を図りながら、引き続き、全力で治安の維持に努めていく所存である。委員の皆様のご貴重な御意見が警察の力となり、市民の安全・安心につながっている。本日も忌憚のない御意見等をお願いします。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 警察署協議会代表者会議の出席結果の伝達</p> <p>会長から、11月17日に警察本部において開催された警察署協議会代表者会議に出席した結果の伝達があった。</p> <p>(2) 協議会テーマ『高齢者対策、子どもの安全確保対策』の各課における取組状況について</p> <p>警察から、犯罪被害抑止対策等、地域業務取組状況、刑法犯の認知・検挙件数等、交通事故発生状況、交通事故防止に関する啓発活動、交通安全教室について説明があった。</p> <p>(3) 警察活動に対する意見・要望等</p> <p>委員から「横断歩道を渡ろうとしている人がしっかりと手を挙げてくれれば分かりやすいが、高齢者の中には、はっきり分からない場合や車の通過を促すような合図する人も居り分かりにくく、停止すべきかどうか迷う時があるが、どうしたらよいか。」「ある園の先生から、不審者対応訓練をした</p>	

際、警察からカーテンを閉める様に指導されたという話を聞いた。カーテンを閉めていると不審者侵入にも気が付かないと思うが、それでよいのか。」

「巡回連絡において把握される情報は、災害時に有力な情報になると思うが、巡回連絡の対象や実施頻度、会話内容等について教示いただきたい。」旨の質問がなされ、警察から「車両、歩行者共に譲り合いの精神は大事であることは言うまでもない。ドライバーとしては、横断歩道を渡ろうとしている人が居れば、法律を遵守して横断歩道手前で停止することが原則である。今後も高齢者対象の交通安全教室等で、横断する時は手を挙げるなどの意思表示をしっかりと行うように指導していく。」「犯人は子どもに向かっていくことから、子どもを見えない様にするために敷地内への不審者侵入時点においては、カーテンを閉めるように推奨している。」「巡回連絡の実施対象は、一般家庭、事業所等で、実施基準は、アパート、事業所等と一般住宅で実施頻度は異なる。会話内容は、住民の要望等の聴取をはじめ、特殊詐欺被害に係る注意喚起等、家族構成等についても、住民の理解を得た上で把握するようにしている。」「管内の実態把握は、地域住民の安全・安心につながっており、事件・事故への対応の合間に実施している。」旨の説明がなされた。

そのほか、委員から「消雪装置がある道路を走行する際、水溜まりがある場所で速度を落とさずに走行するため、泥はね運転する者が多い。泥はね運転の防止について対策等を検討いただきたい。」旨の意見がなされ、警察から「水溜まりの原因は道路環境にもあると思われるので、会議等において道路管理者に対して排水対策を含め可能な対策を実施していただくように働きかけていく。泥はね運転を行うドライバーに対しては、交通取締りを行うなどして対応していきたい。」旨の説明がなされた。

5 次回協議会日程

令和5年2月上旬に開催されることとなった。